

だれにも当てはまる日常のできごとを

人間味のある、あるがままの目でユーモラスに綴る

CL diary #47

むーらん



4月4日（金）

うちに新しいねこがやってきて3週間がたった。先住ねこ仲良くしてくれるかなと期待していたけれど、どうも先住ねこは新入りが気にいらぬみたい。新入りが近づくとフーツと怒っている。新入りは、それに懲りずに先住にじゃれつくのだけれど、それがまた乱暴で、ずいぶん経った今も2匹は仲良くしてくれない。自分の感情さえままたまらないのに、他人であるねこの行動や感情なんて私にはどうすることもできない。無理だとはわかっているけど、ああ、お願い、仲良くして！

4月12日（土）

実家に行くのに車を運転している途中、信号で止まったら、左のわき道から出ようとしている車があった。信号が青に変わったので、待っていてあげようか、どうしようか迷ったのだけれど、結局待つことはしなかった。運転していた女性がこちらに向いたとき、ちょっと頭を下げたくれたら、待っていてあげただけけれど、そんな様子ではなかったもので…。ちょっと意地悪な私。

5月12日（月）

銀行のATMでお金を出した。通帳を取って、最近のお金の出し入れを見ながらATMを離れたら、「おーい、お金を忘れてるよ」と後ろから声が。「すみません！」もう、びっくりして戻ったのだったが、通帳にすっかり気をとられて大事なお金を忘れるなんて！

5月18日（日）

今日は日曜日だけど、災害の時などに職場の課内の連絡網がうまく繋がるかどうかのテストがある。朝、電話がかかってきて、職場の人からかな、と思ったら、母からだった。「今日、訓練だと言っていたから、ちゃんと起きてるかと思って」私がちゃんと起きているか心配して電話をかけてきてくれたのだ。私はもうすっかり大人だが、母は心配で仕方なかったのだろう。

5月30日（金）

今日は楽しみにしていた宝塚歌劇へ。何もかもが夢のように美しくとてもよかったのだが、ひとつだけ落ち込むことが…。お芝居の登場人物はみんな自分の目標に向かって一所懸命に生きていた。それに対して、最近の私はどうだろう。具体的な目標を持って努力するということが疎かになっているのではないかな。感動と反省の一日だった。

6月11日（水）

朝、職場まで歩いていると、後ろから「おはようございます」と声をかけられたような気がした。私も挨拶しようと振り返ると、知らない女性が携帯電話で話しているところだった。私「おは…」ぐらいまで言いかけていたよ。恥ずかしい。

6月13日（金）

来月は県知事の選挙がある。前回の選挙も投票所の事務に行っているのだが、今回も投票所の責任者Tさんから電話があって、「投票の日は頼むわ」と。母に言う「いつもお前に一番に電話してきはんのやな。頼りにしてはんのやわ」投票事務をする人を集めるのは責任者の役目で、なかなか人が集まらず、大変だと聞いている。もし、私を頼りにしてもらっているとしたら、嬉しいかな。

6月24日（火）

家に帰ったら、毎日ねこが迎えてくれるのだが、今日は新入りのほうのお迎えがない。おかしいなと思い、探すとお風呂場のほうから、「なーご、なーご」と変な声がある。あわててお風呂場へいくと、そこでねこを見つけた。私は、いつもは風を通すため、お風呂のふたをストッパー代わりにしてドアは開けておくようにしている。今日に限ってドアのストッパーを忘れていて、ねこがお風呂場に入った後、ドアが閉まってしまったのだろう。ねこを閉じ込めてしまっていた。家を出る前に確認すればよかったのだけれど、ドアを開けるのが習慣になっていたから、ストッパーを忘れていたなんて考えもしなかった。

6月27日（金）

朝、通勤の途中で大がかりな水道工事をみかけた。どこかで漏水でもあったのだろうか。朝早くから大変だなあ…。さて、職場に着いてみると、水道に錆が混じるかもしれないということで、水を飲むことが禁止されていた。つまり職場に繋がる水道が漏れていたのだった。水は飲むこと以外はできたのだが、ただ飲めないということだけで、ずいぶん不便だった。水道からきれいな水が出てくるのが、すっかりあたりまえになっていて、水が突然飲めなくなるなんて考えもしなかった。その後、昼過ぎに工事が終わったのだろう、飲むことができるようになった。毎日、普通に水を飲むことがなんと多くの人に支えられていることか。

（滋賀県滋賀郡CLインストラクター）

 [目次へ戻る](#)